

映画を観終えて会場を出るとき

わたしたちは

わたしたちのこころに希望の灯がともっていることに気づかされる。

百の診療所より一本の用水路を

劇場版

荒野に希望の灯をともす

朗読 石橋蓮司 / 語り 中里雅子

取材 柿木喜久男 / 大月啓介 / アシ・ウラー・ベグ

CG 平野雄一 / 音効 渡辺真衣 / 大島亮 / 演奏 中村幸

編集 櫻木まゆみ / 撮影・監督 谷津賢二 / 構成・制作 上田未生

文化庁文化芸術振興費補助金 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会

企画 ペシヤワール会 / 製作 日本電波ニュース社 / 2022年 / 日本 / カラー / 90分

谷津賢二監督 アフタートークあり

20年以上に渡り撮影した映像素材から 医師 中村哲の生き方をたどるドキュメンタリーの完全版!

2023年 会場 ■ 相模原南市民ホール

1月6日(金)

昼の部 PM2:30~
(開場 PM2:00)

夜の部 PM6:00~
(開場 PM5:30)

参加費
1000円

※ 中学生以下と
障がい者の付添いの方 無料

Pコード 552560

主催: NPO 法人こぞずっと 問合せ: ☎ 042-745-0676 e-mail: info@cocozutto.jp

後援: 相模原市 / 相模原市教育委員会 / 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

● だれでも鑑賞できる字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映。 ● チケットはぴあ窓口やセブンイレブンなどのコンビニで購入できます。 ● お目の不自由な方へ 当日正午までにご連絡ください。 ● お耳の不自由な方へ 受付とトークは手話と文字表示があります。

<https://pia.jp/>

チケットぴあ



久しく見失っていた「希望」を見つけた。

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで35年に渡り、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設した。なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？そして中村は何を考え、何を目指したのか？



© 日本電波ニュース社

このまちの ユニバーサル上映を目指して ここずっと がチャレンジした三つのこと

■ 視覚障がいの方のための音声ガイド、
聴覚障がいの方のための字幕をこれまでも協働してきた
シネマ・チュプキ[※]さんとともに制作に取り組みました。
いつも思うことですが、音声ガイドと字幕をつくることで
わたしたちは、より深く上映作品と出会えます。つくっていく過程のそのなかで
このまちのひととともに映画鑑賞する思いも熱くなっていくのです。ぜひ、ごいっしょに、と。

※シネマ・チュプキ・タバタ=田端にある日本で唯一のユニバーサル映画館です。

■ 相模大野駅から会場までの道案内「ナビレコ」をご用意しました。

※ナビレコについては <https://navirec.amedia.co.jp/> を参照ください。



音声ナビの実地検証を実施しました

(一社) 音声ナビネットの小島さんのご協力を得て、
相模大野駅中央改札口から 南市民ホールの総合案内までの
音声案内をつくっていただきました。
「映画を見ることができる」から「映画を見に行くことができる」へ。
さらに、連携事業者への道案内や、ホール内の掲示へと拡げていきたいです。



■ まちの本屋さんと連携してブックフェアを企画しています。

映画の中には中村哲医師の著書からの引用がたくさんあります。
そのご著書は、相模大野駅ステーションスクエア6階にある
くまざわ書店が「中村哲ブックフェア」を12月から開催してくださいませ。
「読んでから観るか」「観てから読むか」まちの本屋さんで哲さんの本をどうぞ。



主催



NPO法人ここずっと

だれとでも楽しめる
バリアフリー上映です。
字幕と音声ガイド付き
貸出用ラジオあり。
(10台まで)

後援：相模原市 相模原市教育委員会 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

お問い合わせはこちらへ
〒252-0303 相模原市南区相模大野9丁目6番18号
TEL 042-745-0676 FAX 042-742-0447
メール info@cocozutto.jp

開催カンパ振込口座
横浜銀行相模大野支店
普通 6041388
名義 NPO 法人ここずっと

下記参加票（2名分あります）を記入してお越しください。（参加票は当日受付にも用意しています）

新型コロナウイルス
防止対策に
ご協力をお願いします。
参加票に記入
ください。



参加回	お名前	連絡先 ※確実に連絡できる電話番号などを記入ください。	検温
昼の部 夜の部			介護者 中学生以下
参加回	お名前	連絡先 ※確実に連絡できる電話番号などを記入ください。	検温
昼の部 夜の部			介護者 中学生以下